C # 0- 4 ..... ( II )

実施例1と同一条件で同一信号を記録した。記録 後、キセノンアークランプを用いて露光したとこ ろ、記録層の半導体レーザー波長域の吸収は 360W・sec./clの光照射で消失した。これは メチレンブルーが含まれていないときの1/2の 照射量であった。退色後、ディスクの記録面上に 50nmアルミニウムを落着し、市販のコンパク トディスクプレーヤーで再生したところ、帯域幅 30KBで45dBのC/Nが得られ、音楽信号 を再生することができた。

第2図は第3の実施例における光記録媒体の部 分断面図を示すものである。

## 実施例3

実施例1と同一の沸つき基板上に、同じように 10 nmのSiO2の保護暦2を形成後、一般式

るものである.

## 4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1および第2の一実施例に おける光記録媒体の部分断固図、第2図は本発明 の第3の一実施例における部分断面図である。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名

## 発明の効果

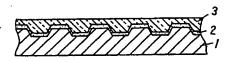
以上のように本発明の光記録媒体は透明基板上 に半導体レーザー波長域に吸収をもつ有機色素と、 一重項酸素増感剤を有する記録層を設けることに より、少量多品種のコンパクトディスクやビデオ ディスクを簡便に、低価格で生産できるようにす

1 - 透明基板

2 一 保 従 層

3 - 亿年1

京 1 気



第 2 包

